

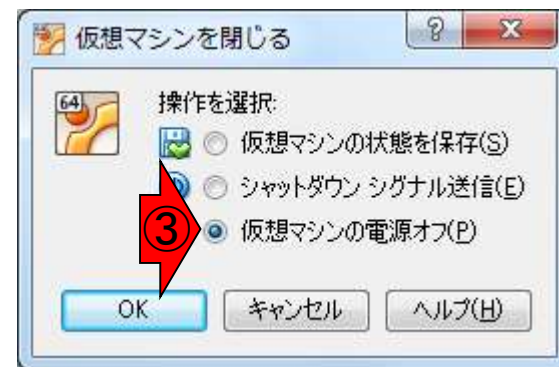
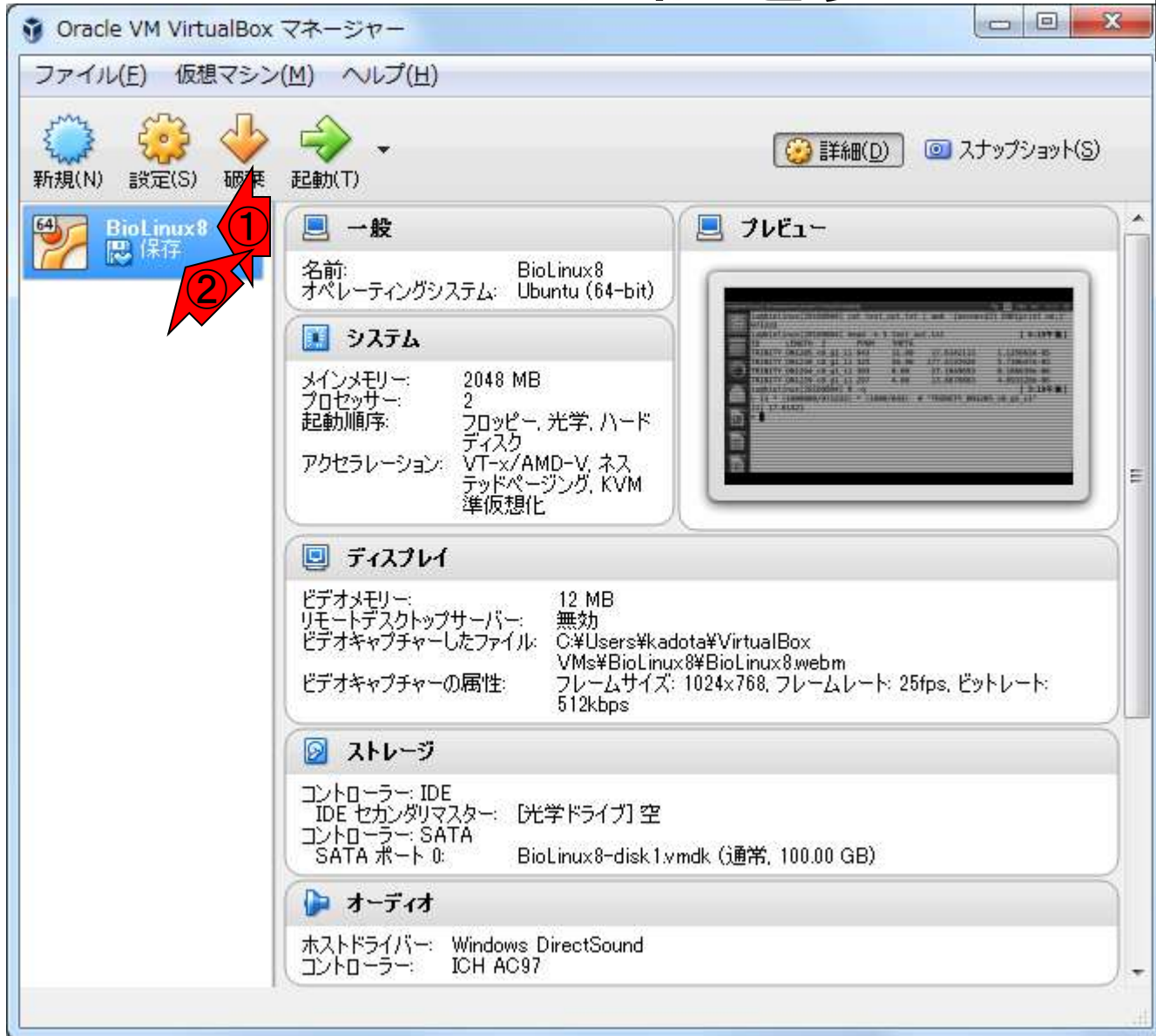
Contents

- BioLinux8の名前を変えたい
 - 例: 第4回終了時点のovaファイルがBioLinux8。第3部用ovaファイルもBioLinux8なので、前者のほうをBioLinux8_4endに変更したい
- 使用メモリを変更したい
 - 例: 現在はゲストOSに2GB (2048MB)しか割り当てていないが、4GB(4096MB)まで割り当てたい



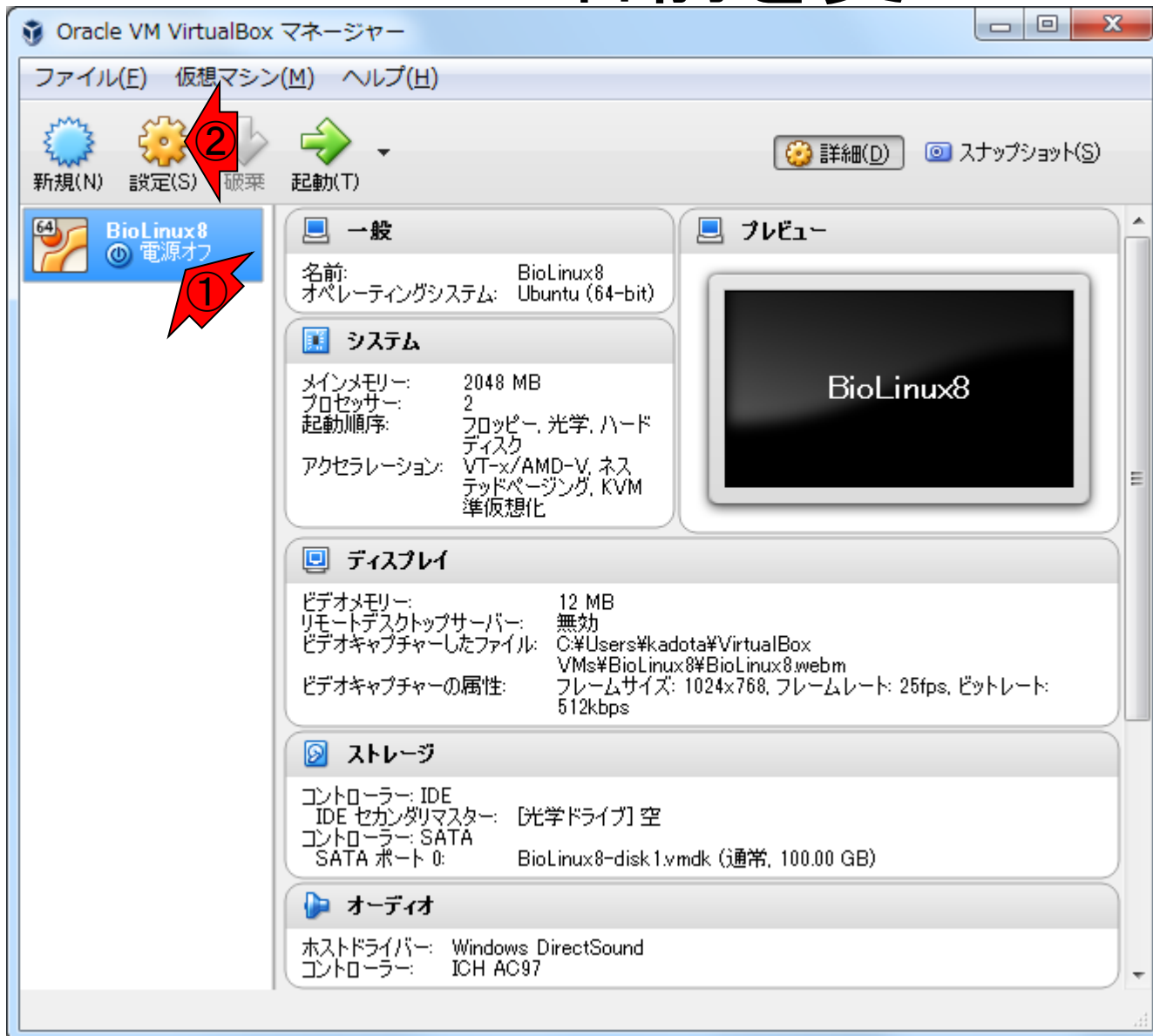
BioLinux8の名前を変えたい

①の部分の名前を変えるTipsです。
②が「保存」になっていると変更できないので、③「仮想マシンの電源オフ」で終了しなおしてください



①が「電源オフ」になっている状態で、②設定を押す

BioLinux8の名前を変えたい



①ここを任意の名前に変更すればよい

BioLinux8の名前を変えたい

The screenshot shows the Oracle VM VirtualBox Manager interface. The main window is titled "Oracle VM VirtualBox マネージャー" and contains a menu bar (File, Virtual Machine, Help) and a toolbar with icons for New, Settings, Destroy, and Start. Below the toolbar, there are tabs for "BioLinux8" and "電源オフ".

The "BioLinux8 - 設定" (Settings) dialog box is open, showing the "一般" (General) tab. The "名前(N)" (Name) field is set to "BioLinux8" and is highlighted with a red arrow and the number 1. The "タイプ(T)" (Type) is set to "Linux" and the "バージョン(V)" (Version) is set to "Ubuntu (64-bit)".

The left sidebar of the settings dialog lists various categories: 一般 (General), システム (System), ディスプレイ (Display), ストレージ (Storage), オーディオ (Audio), ネットワーク (Network), シリアルポート (Serial Port), USB, 共有フォルダー (Shared Folders), and ユーザーインターフェース (User Interface).

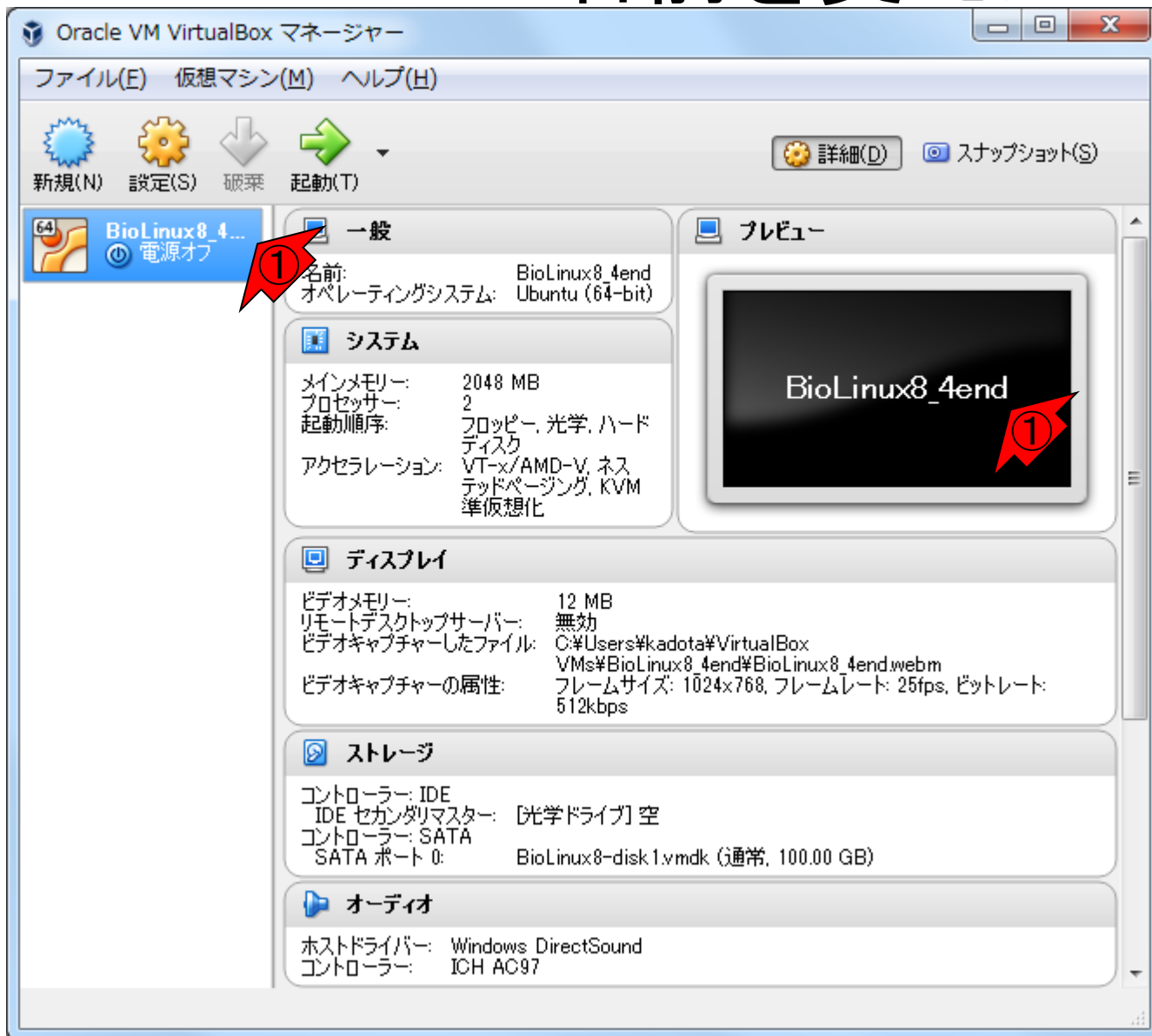
At the bottom of the settings dialog, there are buttons for "OK", "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ(H)" (Help).

①例えばBioLinux8_4end
として、②OK

BioLinux8の名前を変えたい

The screenshot shows the Oracle VM VirtualBox Manager interface. The main window is titled "Oracle VM VirtualBox マネージャー" and contains a menu bar (ファイル(E), 仮想マシン(M), ヘルプ(H)), a toolbar with icons for "新規(N)", "設定(S)", "破棄", and "起動(T)", and a list of virtual machines. One VM, "BioLinux8", is selected and its settings dialog box is open. The dialog box is titled "BioLinux8 - 設定" and has a left sidebar with categories like "一般", "システム", "ディスプレイ", etc. The "一般" (General) tab is active, showing fields for "名前(N)" (Name), "タイプ(T)" (Type), and "バージョン(V)" (Version). The "名前(N)" field contains "BioLinux8_4end" and is highlighted with a red arrow and the number 1. The "タイプ(T)" field is set to "Linux" and the "バージョン(V)" field is set to "Ubuntu (64-bit)". At the bottom of the dialog box, the "OK" button is highlighted with a red arrow and the number 2. Other buttons include "キャンセル" (Cancel) and "ヘルプ(H)" (Help).

BioLinux8の名前を変えたい



Contents

- BioLinux8の名前を変えたい
 - 例: 第4回終了時点のovaファイルがBioLinux8。第3部用ovaファイルもBioLinux8なので、前者のほうをBioLinux8_4endに変更したい
- 使用メモリを変更したい
 - 例: 現在はゲストOSに2GB (2048MB)しか割り当てていないが、4GB(4096MB)まで割り当てたい



使用メモリを変更したい

①現在は2GB (2048MB) 割り当てている状況です。これを4GB (4096MB) にするやり方を示します。②電源オフになっていることを確認して、③設定

Oracle VM VirtualBox マネージャー

ファイル(E) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)

新規(N) 設定(S) 破棄 起動(T) 詳細(D) スナップショット(S)

BioLinux8 電源オフ

一般

名前: BioLinux8
オペレーティングシステム: Ubuntu (64-bit)

システム

メインメモリ: 2048 MB
プロセッサ: 2
起動順序: フロッピー, 光学, ハードディスク
アクセラレーション: VT-x/AMD-V, ネステッドページング, KVM 準仮想化

プレビュー

BioLinux8

ディスプレイ

ビデオメモリ: 12 MB
リモートデスクトップサーバー: 無効
ビデオキャプチャーしたファイル: C:\Users\kadota\VirtualBox\VMs\BioLinux8\BioLinux8.webm
ビデオキャプチャーの属性: フレームサイズ: 1024x768, フレームレート: 25fps, ビットレート: 512kbps

ストレージ

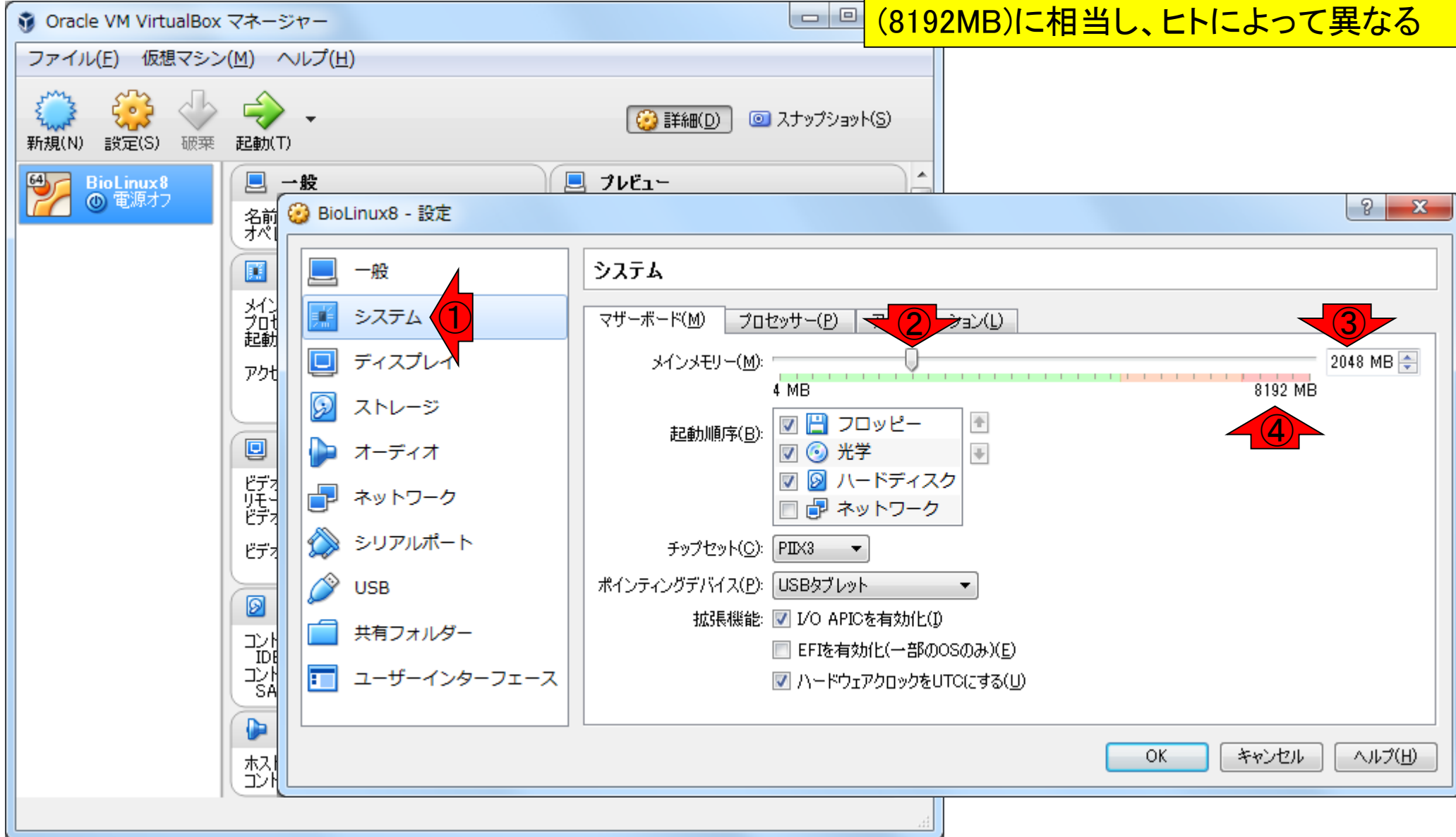
コントローラー: IDE
IDE セカンダリマスター: [光学ドライブ] 空
コントローラー: SATA
SATA ポート 0: BioLinux8-disk1.vmdk (通常, 100.00 GB)

オーディオ

ホストドライバー: Windows DirectSound
コントローラー: ICH AC97

使用メモリを変更したい

①システム。②現在はここ。具体的な数値は③に表示されている。④この数値は、今使用中のノートPCのメモリ8GB(8192MB)に相当し、ヒトによって異なる



使用メモリを変更したい

①4096MBになるまで移動させた状態。②で具体的な数値を確認

Oracle VM VirtualBox マネージャー

ファイル(E) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)

新規(N) 設定(S) 破棄 起動(T) 詳細(D) スナップショット(S)

BioLinux8 電源オフ

BioLinux8 - 設定

システム

マザーボード(M) プロセッサ(P) アクセラレーション(A)

メインメモリ(M): 4 MB 4096 MB

起動順序(B):
 フロッピー
 光学
 ハードディスク
 ネットワーク

チップセット(C): PIIX3

ポインティングデバイス(P): USBタブレット

拡張機能:
 I/O APICを有効化(I)
 EFIを有効化(一部のOSのみ)(E)
 ハードウェアクロックをUTCにする(U)

仮想マシンに割り当てるメインメモリのサイズを指定します。割り当て量が多すぎると仮想マシンは起動しないかもしれません。

OK キャンセル ヘルプ(H)

使用メモリを変更したい

①に書いているように、ホストOS上のメモリも一定量確保しておかねばならないので、今使用中のPCのメモリ未満しか割り当てられない。②閾値はここ

Oracle VM VirtualBox マネージャー

ファイル(E) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)

新規(N) 設定(S) 破棄 起動(T) 詳細(D) スナップショット(S)

BioLinux8 電源オフ

BioLinux8 - 設定

システム

マザーボード(M) プロセッサ(P) アクセラレーション(L)

メインメモリ(M): 4 MB 4096 MB

起動順序(B):
 フロッピー
 光学
 ハードディスク
 ネットワーク

チップセット(C): PIIX3

ポインティングデバイス(P): USBタブレット

拡張機能:
 I/O APICを有効化(I)
 EFIを有効化(一部のOSのみ)(E)
 ハードウェアクロックをUTCにする(U)

仮想マシンに割り当てるメインメモリのサイズを指定します。割り当て量が多すぎると仮想マシンは起動しないかもしれません。

OK キャンセル ヘルプ(H)

使用メモリを変更したい

①例えば閾値をちょっと超えたところを指定すると、②無効な設定となります

Oracle VM VirtualBox マネージャー

ファイル(E) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)

新規(N) 設定(S) 破棄 起動(T) 詳細(D) スナップショット(S)

BioLinux8 電源オフ

BioLinux8 - 設定

システム

マザーボード(M) プロセッサ(P) アクセラレーション(L)

メインメモリ(M): 4 MB 8192 MB 5330 MB

起動順序(B):
 フロッピー
 光学
 ハードディスク
 ネットワーク

チップセット(C): PIIX3

ポインティングデバイス(P): USBタブレット

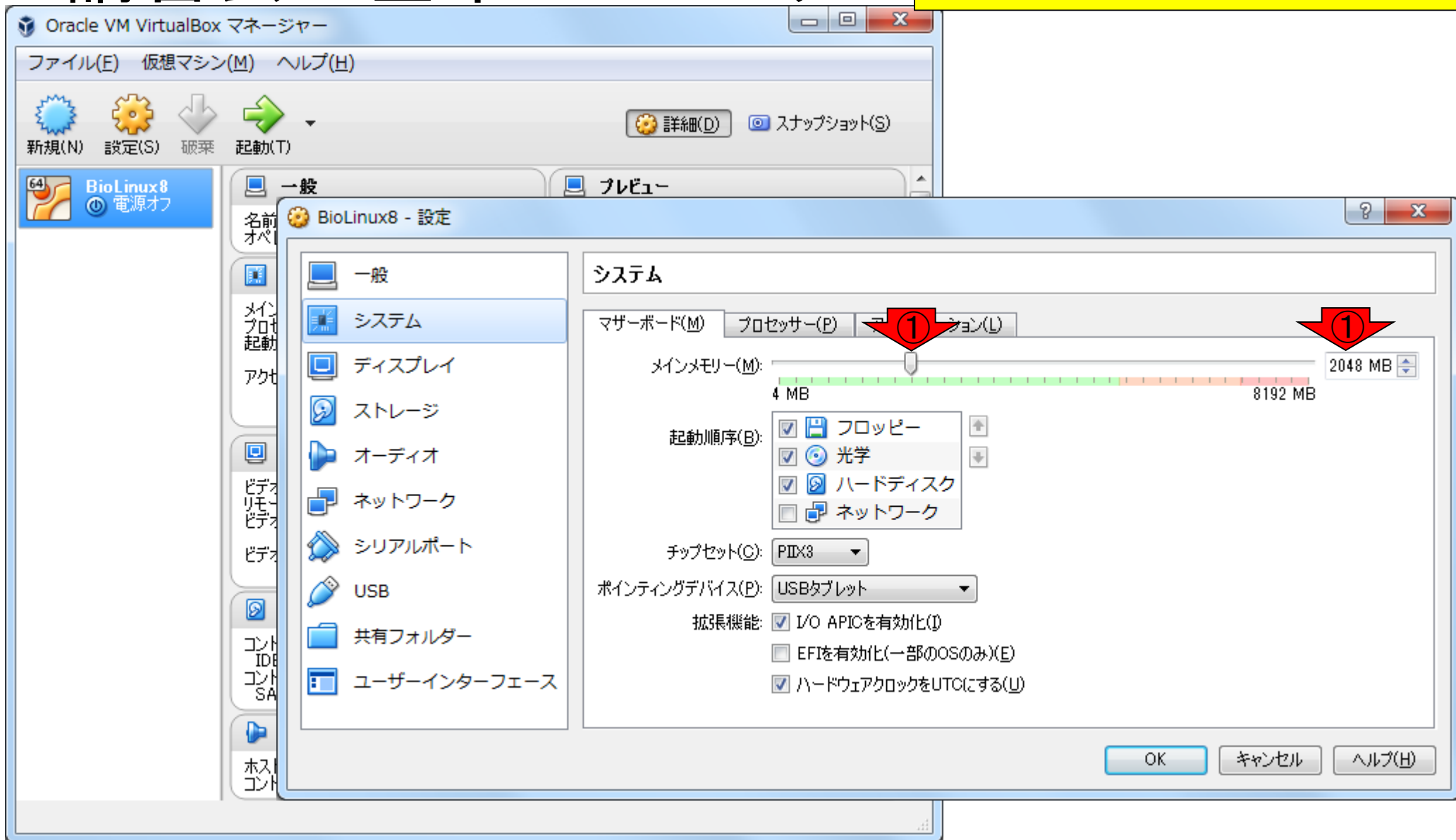
拡張機能:
 I/O APICを有効化(I)
 EFIを有効化(一部のOSのみ)(E)
 ハードウェアクロックをUTCにする(U)

無効な設定が見つかりました

OK キャンセル ヘルプ(H)

講習会は基本2GBメモリ

①講習会期間中は、特に指定しない限り配布したovaファイルのデフォルト設定(2GBメモリ)で行ってください

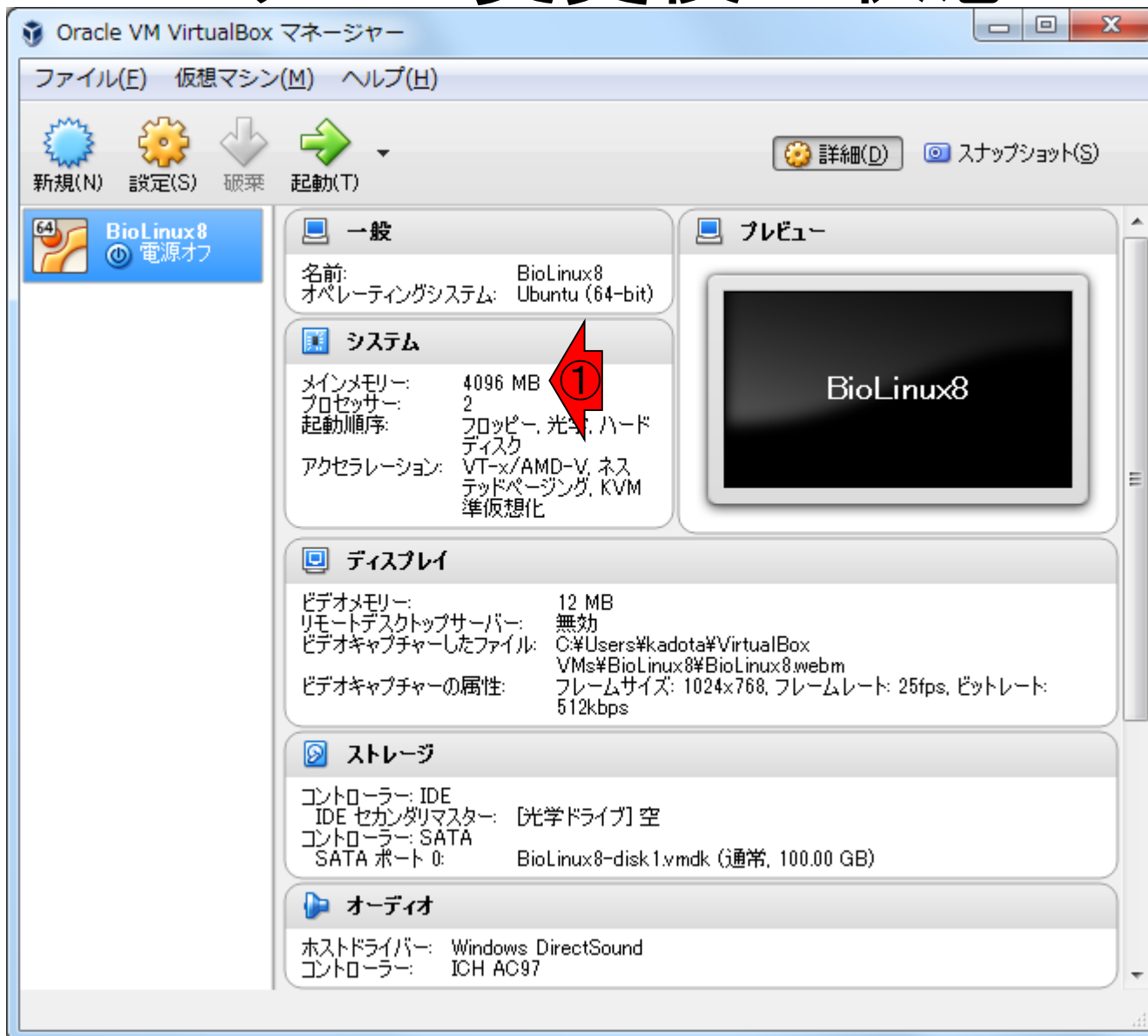


2016.08.02の最後に...

①メモリ4GBに変更してもらいます。
2016.08.02のスライド186 (NGS連載第6回W10-5)は、メモリ2GBだと60分ほどかかりますが、メモリ4GBで行うと8分ほどで終わります。計算時間はメモリに比例するとは限らず、それほど高速化の恩恵を受けないこともあります

The screenshot shows the Oracle VM VirtualBox Manager interface. The main window displays the settings for a virtual machine named 'BioLinux8'. The 'System' tab is selected, and the 'Main Memory (M)' slider is set to 4096 MB. Red arrows point to the memory slider and the OK button. The 'System' tab is selected, and the 'Main Memory (M)' slider is set to 4096 MB. The '起動順序(B):' (Boot Order) is set to Floppy, Optical, Hard Disk, and Network. The 'チップセット(C):' (Chipset) is set to PIIX3. The 'ポインティングデバイス(P):' (Pointing Device) is set to USB Tablet. The '拡張機能' (Advanced Features) section has 'I/O APICを有効化(I)' (Enable I/O APIC) checked, 'EFIを有効化(一部のOSのみ)(E)' (Enable EFI (some OSes only)) unchecked, and 'ハードウェアクロックをUTCにする(U)' (Set hardware clock to UTC) checked.

メモリ4GB変更後の状態



Contents

- BioLinux8の名前を変えたい
 - 例: 第4回終了時点のovaファイルがBioLinux8。第3部用ovaファイルもBioLinux8なので、前者のほうをBioLinux8_4endに変更したい
- 使用メモリを変更したい
 - 例: 現在はゲストOSに2GB (2048MB)しか割り当てていないが、4GB(4096MB)まで割り当てたい
- ovaファイルサイズ削減
 - 自分のovaファイル作成時にやたらと

